



とっとり

公益財団法人

鳥取県国際交流財団

Tottori Prefectural International Exchange Foundation

公益財団法人鳥取県国際交流財団

国際通信

No. 138

Nov. 2021

TOTTORI KOKUSAI TSUSHIN 鳥取国際通信 Bản tin quốc tế Tottori



目次 Contents / 目录 / Mục lục

- | | | | |
|----------------------------|-------|--|-------|
| ● TPIEF だより
事業の開催報告 | 02 | ● 共に生きる ～多文化共生～ | 07 |
| ● 医療・コミュニティ通訳ボランティア講座＜入門編＞ | | ● 英語版・中国語版・ベトナム語版
ダイジェスト | 08・09 |
| ● ビデオ通話＆電話で通訳サポート | | Information in English, Chinese and Vietnamese | |
| ● コロナ禍の国際交流 | 03 | 英文版・中文版・越語版文摘 | |
| ● JICA デスクよりお知らせ | 03 | Bản tóm tắt bằng tiếng Anh-Hoa-Việt | |
| ● 特集「つながる・ひろがる ～財団設立30周年～」 | 04・05 | ● 賛助会員募集のご案内 | 10 |
| とっとりじん | | ● おすすめ図書コーナー | 10 |
| ● われら“鳥取人” | 06 | | |

医療・コミュニティ通訳ボランティア講座〈入門編〉

	日付	会場
中部	9/29[水]	倉吉未来中心&オンライン (受講者数:会場6名、オンライン24名)
東部	10/2[土]	県民ふれあい会館&オンライン (受講者数:会場17名、オンライン24名)



※オンラインと会場スクリーンでの受講のハイブリッド形式で開催しました。

当財団には病院や保健機関に派遣する「医療通訳ボランティア」と学校や保育所・幼稚園や行政機関等に派遣する「コミュニティ通訳ボランティア」の派遣制度があり、その通訳ボランティアのための講座を開催しました。

今回の〈入門編〉では、まずは「県内における多文化共生の現状」について、パラグアイ出身のアベ 山田 マリア ルイス氏に外国人住民が置かれている現状と課題を当事者の立場からお話いただきました。県内で必要とされる言語の多様性に目をむけるきっかけとなるとともに、受講者からは講師の豊富なデータと経験に基づいたお話に感心する声が多く寄せられました。

次に「医療・コミュニティ通訳者になるには」と題し、フリーランス翻訳・通訳者の澤田晶子氏に通訳者として知っておくべきこと、通訳倫理や通訳のトレーニング方法についてお話いただきました。通訳トレーニングの記憶・再現ゲームでは、メモを取らずに言われたことを記憶して再現する難しさを体験し、会場は大いに盛り上がりしました。その他、シャドーイング、ラギングなどのトレーニング方法も実践しました。どれも受講者が一人でもできる練習方法で、とても参考になったようです。

この冬には、〈応用編〉として、医療通訳に関する知識を深めるとともに、ロールプレイを通して実際の通訳を体験しながら通訳技術についてさらに詳しく学習する講座を開催する予定です。開催が決まり次第ホームページやFacebook等でご案内いたします。



受講者の声



「Zoom」を使ったオンライン講座は初めてでしたが、スムーズに接続できました。

県内に住む外国出身者が、何に困っているのかがよくわかりました。

教えていただいたトレーニングの方法をやってみたいです!

医療・コミュニティ通訳ボランティア:コロナ禍での活動 ～ビデオ通話や電話で通訳サポート～

鳥取県版新型コロナ警報の「特別警報」発令期間中は、感染予防対策の徹底のため医療・コミュニティ通訳ボランティアの派遣は休止しますが、ビデオや電話を利用した遠隔通訳により、言葉のサポートをしています。

遠隔通訳の感想(通訳者)

ビデオ通話を使用することで、実際に診察室で対象者(患者)の横についているような感覚で通訳ができましたし、病院のスタッフにも存在をわかっていただけで非常に有効だと思いました。



電話通訳は対象者の状況が見えないため、いつも以上に臨機応変に対応する必要がありますと思いますが、ビデオ通話をするのがむずかしい方にも対応できるという利点も感じました。また、対面とは異なり、訳し方も工夫しました。例えば英語の場合、対面通訳では「一人称の“I”」で訳すことが基本となりますが、状況の見えない電話通訳の場合は、会話の流れによっては「三人称の“he”や“she”」などで訳した方が相手に伝わりやすい場面もあることがわかりました。





コロナ禍の国際交流



第11回鳥取JAZZ 2021×2021 Detroit Jazz Festival 交流事業

(主催: 鳥取JAZZ実行委員会) ※山陰・夢みなと博覧会記念基金助成金活用事業

鳥取JAZZ※は、世界三大ジャズフェスティバルであるデトロイトジャズフェスティバル(DJF)と2019年から交流を行っていますが、新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延・拡大により相互に渡航することが不可能となり、演奏動画とビデオレターを交換し、それぞれのフェスティバルで上映するという形の交流となりました。今年の動画は、Jazzをテーマにしたアート作品や鳥取の風景映像を織り込んでいます。ジャズを通して鳥取と世界の交流を深めていけるよう、そのバトンを来年へとつなぎます。

※鳥取JAZZ…鳥取市の中心市街地各所を会場に「ジャズ」と「アート」を基軸とするジャズ・フェスティバルで、プロのジャズピアニスト・菊池ひみこさんが実行委員長を務めています。▼鳥取JAZZの動画は、DJF(9/3～5開催)のアーカイブとしてYouTubeでも配信しています。<https://youtu.be/Y-yvoRav7Pg>



子どものための異文化理解体験講座開催中!

10月から12月にかけて、財団職員の外国出身講師が県内19の小学校(東部9校、中部4校、西部6校)にうかがっています。手指消毒等十分な感染予防対策を行いながら、子どもたちは五感を使って異文化理解を深め、本やインターネットで見聞きするだけでは気が付かないことを体験から学んでいます。



くらよし国際交流フェスティバル2021

11/21(日)に伯耆しあわせの郷で開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大状況を見ながら関係機関と協議を重ねた結果、中止することを決定しました。“みんなでつなぐ笑顔のWa”をつなげていけるよう、今年度はこれまでの活動の様子を紹介する展示などを予定しています。



私たちはいつもつながっているし、コロナが収まったら県内の交流だけではなく、海外との行き来も復活することを祈っています。来年こそは、盛大にやりたいですね!
【「意吉ブンムルノリ」鄭 然旭さん】

第33回タイムフェスティバル



今年のテーマ「Beyond the Mask～マスクの向うに!～」は、マスクの向うには再び活発な国際交流や旅行の世界が待っている、マスクの奥には皆と繋がりたい気持ちがある、など様々な思いを込めて決めました。皆さんの解釈も色々でしょうね。今年は「ホームページプログラム」としてネット上でも楽しめるようになっています。是非、特設サイトを訪問してみてください!

特設サイトはこちらから ➡ <https://timefestival2021.com/>



JICA

デスクより
お知らせ

教室と世界をつなげます! 国際協力出前講座

途上国で国際協力に携わってきた青年海外協力隊などのJICA海外協力隊の体験談をはじめ、持続可能な開発目標SDGs(Sustainable Development Goals)、多文化共生などの参加型学習の提供をしています。お気軽にお問合せください。

●対象: 教員研修(参加型学習の手法等)／総合的な学習の時間、道徳、社会など／キャリア学習／テーマ学習／市民講座(生涯学習)

お問い合わせ 鳥取県JICAデスク(担当: 芝田)

〒680-0846 鳥取市扇町21 県民ふれあい会館3F 公益財団法人鳥取県国際交流財団内

TEL: 0857-51-1165 FAX: 0857-51-1175 E-mail: tottoriken.desk@gmail.com

f Facebook: <https://www.facebook.com/jica.tottori> JICA中国HP: <https://www.jica.go.jp/chugoku/index.html>



つながる・ひろがる 財団設立30周年



鳥取県国際交流財団は1990年(平成2年)11月に設立されてから、まる30年が経ちました。社会情勢の変化に対処しながら、住民、民間団体、行政が一体となって国際交流活動を推進し、様々な国籍や多様な文化を背景とした人々がともに安心して暮らせる社会づくりを目指して活動してきました。「とっとり国際通信」をひも解いて、みなさんと歩んできた道のりを振り返ります。

1990年代

- 県や市町村と友好提携等を結ぶ国や地域等との民間国際交流
- 県内の留学生や外国語指導助手(ALT)等との交流
- 日本語教育ボランティアのはじまり、マンツーマンの日本語支援

TDIEFメモ

- 1990.11 鳥取県企画部文化国際課内に財団設立
- 1993.5 鳥取商工会館2階に移転、鳥取県国際交流センター開設
- 1996.4 鳥取空港国際会館1階に移転
- 1998.4 米子コンベンションセンター1階に米子事務所開設

2000年代

- 国際交流から多文化共生へ
 - 地方空港から世界へ! 民間国際交流の多様化
 - 外国人住民の支援:日本語や通訳のボランティアの活動
- ※2002年に日本語クラスを開設。主な学習者は、留学生/ALT → +日本人の配偶者等 → +中国人技能実習生

TDIEFメモ

- 2001.5 鳥取県中部総合事務所本館内に倉吉事務所を開設
- 2003.9 特定公益増進法人に認定
- 2004.8 鳥取県中部総合事務所別館に倉吉事務所を拡充移転
- 2009.4 米子バスポートセンター移転に伴い米子事務所のスペースを拡充

コミュニティ通訳 ボランティア派遣開始



2012年12月 第104号

国際交流ボランティア 活躍中



2013年9月 第107号

日本語クラス (東部・中部・西部)



2017年6月 第122号

多文化共生ネットワーク 会議と協働事業



2019年3月 第129号

2010年代

- 地域の外国人住民と共にあゆむ多文化共生
 - 言葉のサポート(医療機関、公的機関等、スポーツ大会での通訳ボランティア)
 - 生活情報の多言語化(ルールやマナー、防災)
 - 日本語支援と「やさしいにほんご」
- ※日本語クラスの学習者は2013年以降ベトナム人実習生が急増。インドネシア、ネパール、ミャンマーなどの国の実習生等も増えて多様化

TDIEFメモ

- 2011.4 公益財団法人への移行
- 2018.4 鳥取県立生涯学習センター(県民ふれあい会館)3階に本所を移転
- 2019.4 改正入管法施行に伴い、鳥取県より外国人相談窓口業務を受託
- 2019.7 外国人相談窓口拡充に伴い、本所事務室前に新たに相談窓口を拡充整備。米子事務所を1階から4階に移転



1990-1999

2000-2009

2010-2019

NEXT 2020~

外国人住民数の推移

※全国の在留外国人総数は毎年12月末の出入国在留管理庁の集計、県内外国人住民数は毎年12月末の鳥取県国際交流推進課の集計による。

1990年(平成2年)
全国 1,075,317
鳥取県 2,334

- 1位 韓国・朝鮮 1,730
- 2位 フィリピン 248
- 3位 中国 159
- 4位 アメリカ 51
- 5位 ブラジル 24

1995年(平成7年)
全国 1,362,371
鳥取県 2,575

- 1位 韓国・朝鮮 1,648
- 2位 中国 257
- 3位 フィリピン 242
- 4位 ブラジル 101
- 5位 アメリカ 80

2000年(平成12年)
全国 1,686,444
鳥取県 3,856

- 1位 韓国・朝鮮 1,525
- 2位 中国 1,157
- 3位 フィリピン 503
- 4位 ブラジル 150
- 5位 アメリカ 79

2005年(平成17年)
全国 2,011,555
鳥取県 4,961

- 1位 中国 2,186
- 2位 韓国・朝鮮 1,424
- 3位 フィリピン 598
- 4位 アメリカ 119
- 5位 タイ 90

2010年(平成22年)
全国 2,134,151
鳥取県 4,144

- 1位 中国 1,761
- 2位 韓国・朝鮮 1,221
- 3位 フィリピン 499
- 4位 アメリカ 85
- 5位 タイ 80

2015年(平成27年)
全国 2,232,189
鳥取県 3,900

- 1位 中国 1,108
- 2位 韓国・朝鮮 1,082
- 3位 フィリピン 501
- 4位 ベトナム 449
- 5位 インドネシア 96

2020年(令和2年)
全国 2,887,116
鳥取県 4,912

- 1位 ベトナム 1,453
- 2位 韓国・朝鮮 953
- 3位 中国 780
- 4位 フィリピン 584
- 5位 インドネシア 188

30年でプラス!

全国 約180万人(約2.7倍)
鳥取県 約2,500人(約2.1倍)

30年で全国の在留外国人数が約180万人も増加しました! 鳥取県では約2,500人の増加となりました!

- 1989年 出入国管理及び難民認定法(入管法)改正 在留資格「定住者」新設
- 1993年 出入国管理及び難民認定法(入管法)改正 技能実習制度の創設

- ▲ 1997年 山陰・夢みなと博覧会

- ▲ 2000年 鳥取県西部地震
- ▲ 2001年 米子・ソウル便就航

- 2006年 「多文化共生推進プログラム」提言(総務省)・「国際交流」「国際協力」に加え「多文化共生」を第3の柱に
- 2008年 リーマンショック
- 2009年 入管法改正・外国人登録法の廃止、雇用契約に基づく「技能実習」創設

- 2011年 東日本大震災
- ▲ 2016年 鳥取県中部地震

- 2017年 「技能実習の適正な実施及び実習生の保護に関する法律(技能実習法)」
- 2019年 日本語教育の推進に関する法律 施行
- 2019年 改正入管法 施行・在留資格「特定技能」創設

- 2020年 COVID-19
- 2020年 日本語教育推進法の基本方針を閣議決定

● 国の政策、社会の動き ▲ 鳥取県内の出来事

国際交流サロン (バスツアー)



1997年8月 第23号

日本語教育講座



1999年2月 第33号

TOTTORI 国際フェスティバル



1999年8月 第36号

登録ボランティア 紹介



2001年2月 第45号

バーモント州を知る会& 国際和太鼓交流



2002年9月 第54号

とっとり国際塾 第1回ブラジルバグアイ



2003年3月 第57号

多文化共生 パネルディスカッション第1回



2008年11月 第88号

医療通訳ボランティア 養成講座・派遣開始



2009年2月 第89号



We are われら“鳥取人”

県内在住の外国出身者に鳥取に住んで
感じることなどを紹介していただきます!

経験は今につながる

G'day! オーストラリアのゴールドコースト市からまいりましたシェリーです。ゴールドコーストはオーストラリアの主要な観光都市として知られています。テーマパークや50キロ以上続く砂浜海岸、世界遺産に指定されている亜熱帯雨林国立公園、そしてたくさんのレクリエーション施設があります。また、サーフィンやヨットレースの大会も盛んです。私はそこにある日本のインバウンドツアー会社で働いていました。その貴重な経験のおかげで、来日前に観光業の知識や日本語能力を上達させることができました。



◎ 宿泊施設が立ち並ぶ砂浜海岸

たくさんの「人生初!」を鳥取で

2005年8月、JETプログラム(外国語青年招致事業)の国際交流員として来日し、鳥取市で生活を始めました。2008年、日本人と結婚し、倉吉市に移り、フリーランスの翻訳者と英語講師として働き始めました。

最近、ようやく分かるようになったのですが、鳥取県は日本のアドベンチャーツーリズムの人気スポットとなる可能性を秘めているということです。手つかずの自然の美しさに加え、レクリエーション施設やアウトドア・アクティビティの数は、ここ10年で随分と増えました。また、スリル満点のアクティビティもたくさんあります。鳥取県での生活は16年以上になりますが、まだまだ初めての発見と体験にあふれています。

今年の夏、浦富海岸で初めてシーカヤックを体験しました。美しい景色を眺めながら壮大な海を漕ぐのは、想像以上にエキサイティングなアウトドア・アクティビティでした。鳥取砂丘でセグウェイも初めて体験しました。スキーができるようになった場所も鳥取県でした。大山の白いスキー場から見える遠く離れた海の素晴らしい景色が忘れられません。(気候が暖かいゴールドコーストでは絶対に体験できませんから。)

鳥取16年目

シェリー・メガリーさん

オーストラリア出身・倉吉市在住



◎ シーカヤック体験



◎ 日本海が眺められる大山スキー場

自然豊かで子育ても安心

また、鳥取県には手頃な価格の物がたくさんありますが、特に、新鮮な食材が手に入りやすいのがとてもありがたいです。地元栽培の野菜、果物等、近くの野菜市場で種類豊富な生鮮食品をたくさん買うことができます。親戚や友人そしてご近所の方から自家製の旬の野菜をもらうこともあり、とても嬉しいです。今、2人の子供がいますが、栄養のバランスや食品の安全のことを気に掛けています。きれいな環境の中で栄養価が高い食品を食べてもらいたいので、自然豊かな鳥取で安心して子育てができるのがうれしいです。

鳥取の冬の厳しい寒さにはまだ慣れませんが、子供たちにとっては雪遊びができる待ちどおしい季節です。鳥取は四季がはっきりしているため、それぞれの季節に楽しみがあるのが分かるようになりました。春には花見、夏はビーチ、秋は紅葉、冬はスキー!公園もたくさんあり、天気の良い日は公園でピクニックが楽しめます。子供たちは走り回って自然を体験することができます。これも子供たちの成長にとっては重要なことだと思います。

友人や親戚が国内外から訪れて来た時は、絶景の東郷湖、大山、浦富海岸の遊覧船、温泉施設等を案内していましたが、これからは、スリル満点のアウトドア・アクティビティも案内したりして、鳥取県のアドベンチャーツーリズムの魅力を発信し続けたいと思っています。



◎ 東郷湖の散策コースから眺める夕日

共に生きる

~多文化共生~

鳥取県内の企業で日々仕事に励む外国籍社員の方を取材しました。今回は琴浦町にある「有限会社 木本自動車」様を訪ねました。

ティン コジンさん
(ミャンマー・ラカイン州出身)



2018年9月、初の技能実習生として入社

どんな仕事をしていますか？

車の塗装です！塗装といっても、ただ色を塗るだけではないんです。下準備やマスキングの作業も重要です。そして、一番頭を悩ませるのが色合わせです。日本の車の色の種類の中には、本当に驚きました。「青色」といっても、さまざまな青がありますし、メタリック系はさらに調色が難しくなります。以前は、たくさん色見本帳の中から使う色の種類や配合率を調べていましたが、コンピューターを使うようになり、少し楽になりました。自分で調合した塗料が作業する車の色とぴったりと合って褒められると、すごくうれしいです。今では一人で塗装を任されるようになりました！色合わせのない単色限定ですが。

3年前は何もできなかったけれど、ひとつずつ習って、失敗して、しかられて…。その理由を理解できるように教えてもらえるから、おこられても腹を立てるといことはなく、できるまで何度も何度もやり直しました。仕事をする中で、先輩から「まずは、やってみろ！」と言われると、なぜか力が出て頑張れました。「やってみよう」は、好きな日本語のひとつです。



▲作業は塗装用防塵マスクをつけて



▲ここでオンリーワンの色を生み出します

日本語で困ったことはありますか？

はい。ここに来たばかりのころ、整備ビットも全て埋まり、何台かの車を入れ替えながらの作業で、とても忙しい日でした。先輩に「出さないけん！」と言われたのですが、何を？出す？出さない？どうしたらいいのかわかりませんでした。そのころは、まだ鳥取の方言を知らなかったんです。今なら、分かります。“出します”よ。

今後の目標を教えてください

将来の夢は、ミャンマーで木本自動車のような会社をつくること！そこで、車を修理したり、日本に行きたい若者に自分の経験を伝えたいです。高校生の時に目にしたMade in JAPANは、品質の良さの代名詞でした。実習先として日本を選んだきっかけです。

木本自動車では、品質を守り、納期を意識して毎日真剣に作業に取り組んでいます。その姿がとても印象的で、ミャンマーとの違いを感じています。今ここで吸収できる限りの技術を身につけるために、会社の皆さんに助けていただきながら、一步一步目標に向かっていきます。先日、自動車整備分野特定技能評価試験に合格しました。今は、自動車整備分野の特定技能1号という在留資格への変更許可を申請したところで、認定されるのを待っています。今後は、自動車整備士技能検定3級や日本の自動車運転免許を取得して、仕事の幅を広げていきたいです。

会社の大先輩より一言

ゆっくりしゃべったり、お互いの意見を間違いなく理解できるように伝え方を工夫していくうちに、ティン君の日本語も随分と上手になりました。外国出身だからといって、特別扱いは一切なし。他の従業員と同じように教えました。ティン君は、分からないことは、必ず質問をしてきました。そして、物事をやり抜きます。素直でやさしい彼がいると、周りも前向きな気持ちになれますね。目標に向かって頑張る彼をみんなで応援しています。





TPIEF 30th Anniversary

Established in November of 1990, our foundation has now been in service for a full 30 years. Having undertaken numerous projects and seen many changes along the way, we hope that with your support we may continue to contribute to the development of an amicable society for the prefecture's foreign residents. Visit our website and Facebook page for the latest updates!

Website



Facebook page



Medical & Community Volunteer Interpreter Services during the Pandemic

Video and Telephone Interpreting

Our interpreters offer their services by video and telephone where mounting Covid-19 infection rates prevent dispatch. Service may be requested at any TPIEF office.

▼ Video chat technology can bring the interpreter directly into the room — in the case of hospital visits, allowing conversation with physicians and hospital staff.



▼ For those for whom video chat proves difficult, interpreting by telephone is available. Rather than direct conversation, however, communication is based on relaying explanations and other content between parties in turn.



Kurayoshi International Exchange Festival 2021



Although the festival had been planned for (Sunday) 11/21, concerns about the spread of the Covid-19 pandemic have led to the decision to suspend the event. We hope to hold the festival next year.

We hope to hold the festival next year.



33rd Annual TIME Festival



This year's theme was Beyond the Mask.

Check the Festival website to see footage:

➡ <https://timefestival2021.com/>



财团成立30周年♪

鸟取县国际交流财团成立于1990年11月。在走过的30年历程中，财团紧跟时代的步伐进行了各式各样的挑战和尝试。今后也继续与外国人住民一同为创造和谐社会作出贡献。敬请社会各方人士大力支持和协助。有关我们的最新信息可通过财团网站或者脸书获得！

医疗・社会生活翻译志愿者: 新冠疫情的对应

～视频通话及电话翻译服务～

受新冠肺炎感染症的影响而不能派遣翻译志愿者的时候，可通过视频电话及电话翻译等形式提供语言支援。需要翻译时可向财团各事务所申请。

▼通过视频通话，让您有如身在诊察室，而翻译人员就在一旁的临场感，可以和医生及医院工作人员交换意见。（例：在医院）

▼视频通话有困难的人士可以采用电话翻译的形式。只是和面对面不同，电话翻译必须要下功夫，添加一些状况说明，或是具体传达谁在什么样的情况下说了什么等。



官方网站



官方Facebook社群



2021年仓吉国际交流欢乐节停办通知

预定11/21(周日)举办的仓吉国际交流欢乐节受新冠疫情的影响，主办方和相关团体经多次协议，做出了停办的决定。让我们祈愿明年能顺利举办。



第33回タイム国际交流欢乐节



今年的题目是、「Beyond the Mask ～マスクの向うに!～」。

国际交流欢乐节的情况可从特设网站浏览。



<https://timefestival2021.com/>

Bản tóm tắt bằng tiếng Việt

KỶ NIỆM 30 NĂM THÀNH LẬP QUỸ GIAO LƯU

Được thành lập vào tháng 11 năm 1990, đến nay, Quỹ Giao Lưu Quốc Tế Tỉnh Tottori vừa tròn 30 năm tuổi. Chúng tôi đã nỗ lực với nhiều hoạt động cho phù hợp với thời đại, và vẫn mong muốn tiếp tục được cống hiến để xây dựng một xã hội-nơi mọi cư dân nước ngoài có thể cùng vui vẻ sống chung. Rất mong tiếp tục nhận được sự ủng hộ từ các bạn. Truy cập trang chủ và Facebook của chúng tôi để có thông tin mới nhất!

Website



Facebook page



VIỆC PHẢI CỬ “THÔNG DỊCH VIÊN TÌNH NGUYỆN LĨNH VỰC Y TẾ VÀ CỘNG ĐỒNG” TRONG THỜI CORONA ～HỖ TRỢ DỊCH QUA ĐIỆN THOẠI HAY QUA CUỘC GỌI VIDEO～

Khi không thể phải cử thông dịch viên tình nguyện do sự lây lan của Covid-19, chúng tôi sẽ hỗ trợ bằng hình thức dịch qua điện thoại, hay qua các cuộc gọi video. Hãy liên hệ văn phòng gần nhất của Quỹ Giao Lưu, nếu bạn cần thông dịch.

▼Bằng cách sử dụng cuộc gọi video, bạn có thể trao đổi với các bác sĩ và nhân viên bệnh viện như thể bạn đang thực sự ngồi bên cạnh một thông dịch viên trong phòng khám của bác sĩ. (Ví dụ: Tại bệnh viện).

▼Dịch qua điện thoại là một phương pháp hữu ích cho những ai gặp khó khăn trong việc gọi điện video. Tuy nhiên, nó hơi khác với hình thức dịch thấy rõ mặt các bên, vì bạn cần phải truyền đạt cụ thể cho thông dịch- người đang không có mặt ở hiện trường hiểu rõ các diễn biến, rằng người nào đang nói, nội dung nào đang được đề cập.



THÔNG BÁO HỦY TỔ CHỨC LỄ HỘI GIAO LƯU QUỐC TẾ KURAYOSHI 2021

Dự kiến được tổ chức vào 21/11 (Chủ nhật). Tuy nhiên, trước tình hình lây lan của Covid-19, sau khi bàn bạc với các cơ quan khác có liên quan, chúng tôi quyết định hủy sự kiện này. Mong rằng năm sau, lễ hội có thể được tổ chức.



TIME FESTIVAL LẦN THỨ 33



Chủ đề của lễ hội lần này là “Beyond the Mask - Bên kia tấm khẩu trang! -”。

Có thể xem Festival qua trang web đặc biệt dành cho lễ hội.



<https://timefestival2021.com/>



賛助会員募集のご案内

あなたもぜひ、賛助会員に!

当財団では、県民の皆様の幅広い参加のもとに、自立・参加型の国際交流事業や多文化共生事業を進めていくため、趣旨に賛同してくださる賛助会員を広く募集しています。「国際交流に興味はあるけれど何から始めればいいのか分からない」という方も、まずは当財団の賛助会員になられてみてはいかがでしょうか?皆様のご入会をお待ちしております。

●個人会員	年会費 1口	2,000円
●学生会員(高校生以下)	年会費 1口	500円
●団体会員	年会費 1口	10,000円

◎会員期間は、毎年度4月1日から翌年の3月31日までです。

入会方法 財団の各事務所で入会を受理しています。また、公共施設にも申込用紙を置いてありますので、必要事項をご記入のうえ、お申し込みください。



- 機関紙「とっとり国際通信」の送付
- 図書の貸出冊数の増冊
(5冊/回→10冊/回)
- 提携飲食店、観光施設等での割引など
(お店、語学・趣味・文化、観光施設等、旅行・宿泊)



協力店を紹介します!★

多文化交流教室 日華ふれんず

日華ふれんずは色々な国の人々が仲良く鳥取に暮らせる手助けをするのを目標として設立しました。

■多文化共生交流会開催 ■語学教室 (中国語・英語・韓国語・独語・スペイン語・日本語) ■通訳・翻訳(上記以外、タイ語などの言語も対応可) ■梨山梨茶及び台湾茶の販売・教室 ■鳥取で台湾文化を広める活動 など、様々な活動をしています。



住所: 鳥取市新町201 上田ビル2F
連絡先: nikkafriendst@gmail.com
お休み: 不定休 ※メールでお気軽にお問い合わせください
HP: <https://nikkafriends.amebaownd.com/>

ホームページはこちら!

賛助会員
カードの提示で

語学教室(中国語・英語・韓国語)の
入会費(3,000円)から1,000円割引!



今回は「鳥取県民とゆかりのある国際交流や国際協力をふりかえる本」を紹介しします。

※図書の貸し出しも無料で行っています。
※各事務所で蔵書は異なりますが、最寄りの事務所で取り寄せることができます。



2時間で逢える 日本-ウラジオストク

(皓星社)企画編集:オリガ・マリツェヴァ
監修:ゾーヤ・モルグン 発行人:西川 洋



日韓高校生サッカー交流IN大山 アジア国際ユースサッカーIN鳥取 回顧録

(郁朋社)著者:神庭 浩志



(復刻版)みんなで生きるために
ネパールの人々に寄せる
ある医師の人間愛
(今井出版)著者:岩村 昇

本所

Head Office / 本所

〒680-0846
鳥取市扇町21番地 県民ふれあい会館3階
TEL: (0857) 51-1165 FAX: (0857) 51-1175
E-mail: tic@torisakuyu.or.jp

〈利用時間〉

9:00~17:30 土・日も開所しています!

祝日・年末年始はお休みです



倉吉事務所

Kurayoshi Office / 倉吉事務所

〒682-0802
倉吉市東蔵城町2 鳥取県中部総合事務所別館
TEL: (0858) 23-5931 FAX: (0858) 23-5932
E-mail: tick@torisakuyu.or.jp

〈利用時間〉

(平日) 8:30~17:15 土・日・祝日・年末年始はお休みです

※臨時に閉所する場合は、HPで随時お知らせします。



米子事務所

Yonago Office / 米子事務所

〒683-0043
米子市末広町294 米子コンベンションセンター4F
TEL: (0859) 34-5931 FAX: (0859) 34-5955
E-mail: tic@torisakuyu.or.jp

〈利用時間〉

9:00~17:30 日曜日も開所しています!

土・祝日・年末年始はお休みです



f 公式Facebookページ
「とっとりニコニコ」

QRコードからアクセス



英語/やさしいほんご版



中国語(簡体字版)



中国語(繁体字版)



ベトナム語版

公益財団法人
鳥取県国際交流財団
<http://www.torisakuyu.or.jp/>

